

村税完納継続50年

平成十八年度の村税（個人村民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税）は、全納税組合完納となり、昭和三十二年度以来、継続完納五十年という大きな実績をつくっていただきました。この実績は県内はもとより、全国にも稀にみる実績で、完納にご尽力いただきました行政區長さん、副區長さん、組長さんを始め、村民の皆さんに感謝申し上げます。

この継続完納五十年を祝う納税表彰式・納税組長会議が六月十七日、村公民館で関係者、来賓など約二百人が出席して開かれました。

式では、村税完納を達成した各行政區や區長、納税組合に表彰状を贈呈したあと、福島県知事感謝状の伝達が富田行政區へ贈呈されました。また、併せて納税組長会議も行われ、大樂村長や各課長が本年度の村の取り組みについて説明しました。



完納を達成した行政區に表彰状が贈られました

表彰は次のとおりです。（敬称略）

- ▼ 完納行政區長表彰 星一彌、関根彦孝、矢吹堅壽、宗田豊、鷺野谷武志、蛭田吉郎、武藤明
- ▼ 村税五十年継続完納達成行政區表彰 赤坂東野・石井草区
- ▼ 完納行政區表彰 赤坂西野區（五十年継続） 西山区（五十五年継続） 赤坂中野區（五十二年継続） 渡瀬區（五十二年継続） 青生野區（五十一年継続）
- ▼ 納期前完納組合表彰（平成十八年四月十九日までに概算前納した組合） 切払東ほか十三組合
- ▼ 納期内完納組合表彰（平成十八年十二月二十六日までに完納した組合） 酒垂旧ほか七十二組合
- ▼ 完納組合（平成十八年度内に完納した組合） 酒垂新ほか五十七組合

名誉村民に 佐藤大助氏を推戴

村の名誉村民第2号に佐藤大助氏が選ばれ、名誉村民推戴式が六月十七日、村公民館で行われました。式には、村内の納税組長、行政區長、村議会議員など来賓合わせて約二百人が出席。大樂村長が式辞を述べ、名誉村民推戴状を佐藤氏に贈呈。このあと、佐藤氏の功績が紹介され、来賓祝辞、花束贈呈が行われました。

名誉村民に関する功績

東京鮫川会の結成

昭和61年5月、「都市との交流による村おこし」のために、当時、大田区議会議員として活躍されていた佐藤氏に「東京鮫川会」結成を相談。発起人を快諾していただき、公私ともに多忙な中、「東京鮫川会」の発足に向けて都内の友人・知人に働きかけ発起人会を立ち上げました。

その後、準備会議を経て昭和62年7月に「東京鮫川会」が結成されました。結成総会の席上で満場一致により初代会長に選出され、以後、連続6期11年間東京鮫川会の発展に努力されるとともに、ふる里鮫川村の振興のために多大なご尽力をいただきました。

鮫川村振興のために尽力

村特産品の販売市場の拡大

鮫川村産の特産品をセットにした「ふる里の味宅配」の普及とともに、第1回イベントから参加

高原の鮫川うまいもの祭りの成功のために

都内で自ら先頭になり宣伝される

鮫川花火大会の開催

鮫川花火大会の協賛を会員により

鮫川村の交流人口の拡大

東京鮫川会発足の翌年から、毎年5月に会員や首都圏の住民に働きかけ、ふる里探訪ツアーを開始

産学官連携づくり支援

東京鮫川会総会に首都圏在住で村と交流のある大学教授や実業家などを招待し、村づくりへの支援・協力を要請

地方税と村の出来事

年度	地方税と主な改正点	出来事
昭和25	普通税の課税税目を11税目とした。	国勢調査 人口8,077人
昭和26	国民健康保険税が創設された。	第2回統一地方選挙
昭和29	県民税が創設され市町村において賦課し、県に納付することになった。市町村たばこ税が創設された。	
昭和32	軽自動車税が創設された。	村税完納達成
昭和37		県民税完納達成
昭和45		国勢調査 人口6,404人
昭和52		山村開発センター開所
昭和56		村税完納25年継続達成
昭和61		村税完納30年継続達成
平成元	村たばこ消費税を村たばこ税と改めた。	村制施行百周年
平成8		村税完納40年継続達成
平成15		合併の賛否を問う住民投票
平成18		村税完納50年継続達成
平成19	所得税から個人住民税へ税源移譲され、一律10%（村6%・県4%）の比例税率化された。	



佐藤氏へ名誉村民推戴状の贈呈



東京鮫川会阿久津芳雄会長(左)もお祝いにかけつけました